

交付図書の訂正について

平成23年8月10日付けで入札公告を行った「東北自動車道 郡山管内橋梁災害復旧工事」に係る交付図書の内容の一部に誤りがありましたので、以下のとおり訂正します。

平成23年9月16日

(契約責任者) 東日本高速道路株式会社東北支社
支社長 鈴木 辰夫

平成23年度
東北自動車道
郡山管内橋梁災害復旧工事

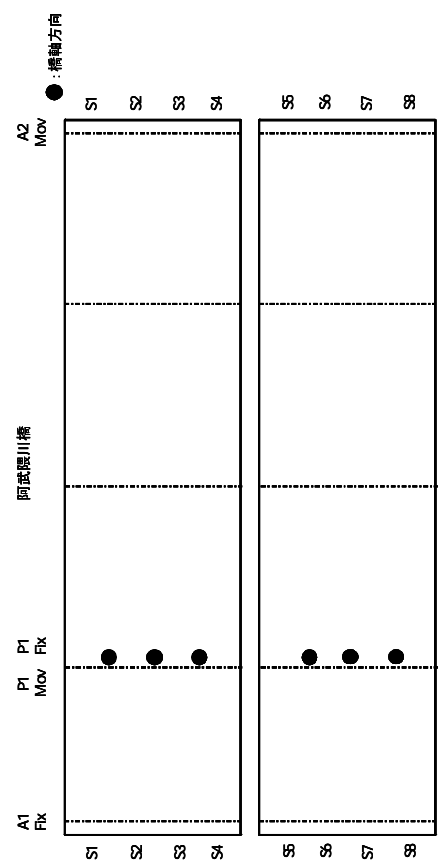
図書交付資料正誤表

東日本高速道路株式会社 東北支社
郡山管理事務所

東北自動車道 郡山管内橋梁災害復旧工事

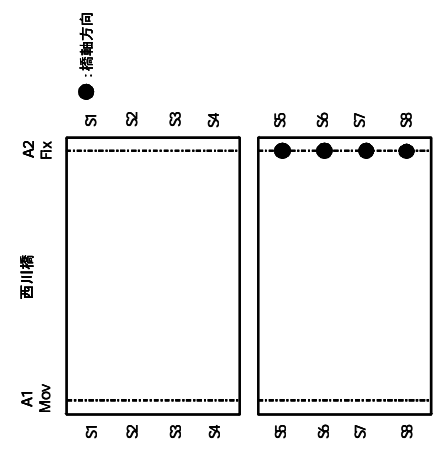
変位制限装置設置図 (2)

81 / 116



材料表

項目	コンクリート	規格	単位	数量	標準
架設用鋼線鉄筋 (橋脚方向)	コンクリート	A1-3	m ³	5.93	標準型03(併用)
	型鉄	D	m ²	30.54	標準型03(併用)
	鉄筋	A	t	0.95	標準型03(併用)
	アンカー	φ32 L=0.330m(鉛直)	本	42	標準型03(併用)
		φ28 L=0.240m(水平)	本	84	標準型03(併用)
継鋼材	クロロプレナム	m ²	2.16	標準型03(併用)	



材料表

項目	コンクリート	規格	単位	数量	標準
架設用鋼線鉄筋 (橋脚方向)	コンクリート	A1-3	m ³	3.72	標準型02(中空球状鉄骨)
	型鉄	D	m ²	20.39	標準型02(中空球状鉄骨)
	鉄筋	A	t	0.44	標準型02(中空球状鉄骨)
	アンカー	φ32 L=0.330m(鉛直)	本	28	標準型02(中空球状鉄骨)
		φ28 L=0.240m(水平)	本	56	標準型02(中空球状鉄骨)
継鋼材	クロロプレナム	m ²	1.44	標準型02(中空球状鉄骨)	

材料表 (継ぎ足)

架設用鋼線鉄筋 (橋脚方向)	アンカー	t=22mm(SM400A)	t	0.74	標準型02(中空球状鉄骨)
		D51(S335) M48	kg	148	標準型02(中空球状鉄骨)
	アンカー	φ81 L=0.10m(鉛直)	本	12	標準型02(中空球状鉄骨)

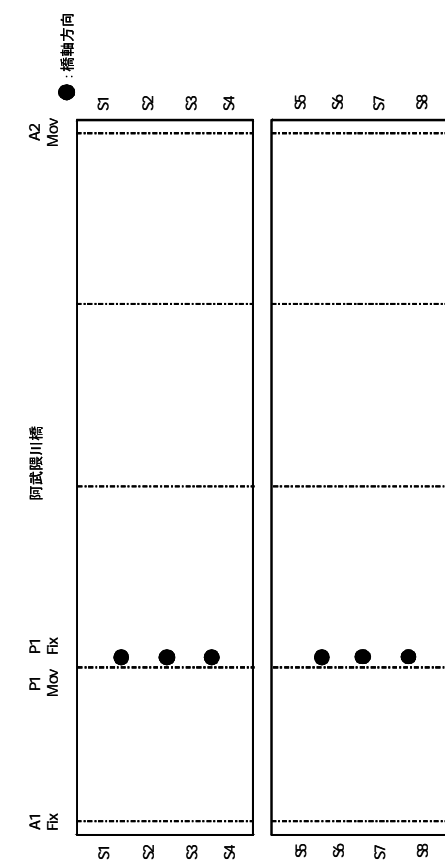
東北自動車道
郡山管内橋梁災害復旧工事

図面の種類	架設用鋼線鉄筋図面(2)
縮尺	図面縮尺
設計会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社
事務所名	郡山 管理事務所

訂正後

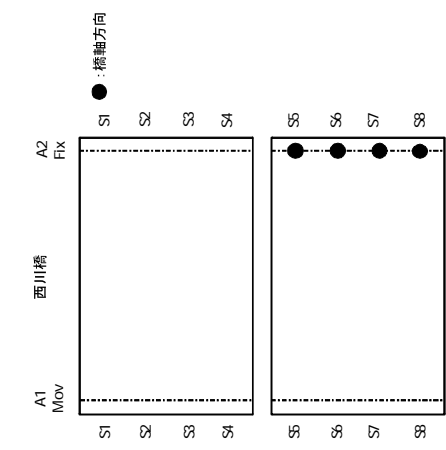
変位制限装置設置図 (2)

81 / 116



材料表

項目	コンクリート	規格	単位	数量	標準
架設用鋼線鉄筋 (橋脚方向)	コンクリート	A1-3	m ³	5.93	標準型03(併用)
	型鉄	D	m ²	30.54	標準型03(併用)
	鉄筋	A	t	0.95	標準型03(併用)
	アンカー	φ32 L=0.330m(鉛直)	本	42	標準型03(併用)
		φ28 L=0.240m(水平)	本	84	標準型03(併用)
継鋼材	クロロプレナム	m ²	2.16	標準型03(併用)	



材料表

項目	コンクリート	規格	単位	数量	標準
架設用鋼線鉄筋 (橋脚方向)	コンクリート	A1-3	m ³	3.72	標準型02(中空球状鉄骨)
	型鉄	D	m ²	20.39	標準型02(中空球状鉄骨)
	鉄筋	A	t	0.44	標準型02(中空球状鉄骨)
	アンカー	φ32 L=0.330m(鉛直)	本	28	標準型02(中空球状鉄骨)
		φ28 L=0.240m(水平)	本	56	標準型02(中空球状鉄骨)
継鋼材	クロロプレナム	m ²	1.44	標準型02(中空球状鉄骨)	

材料表 (継ぎ足)

架設用鋼線鉄筋 (橋脚方向)	アンカー	t=22mm(SM400A)	t	0.74	標準型02(中空球状鉄骨)
		D51(S335) M48	kg	148	標準型02(中空球状鉄骨)
	アンカー	φ81 L=0.10m(鉛直)	本	12	標準型02(中空球状鉄骨)

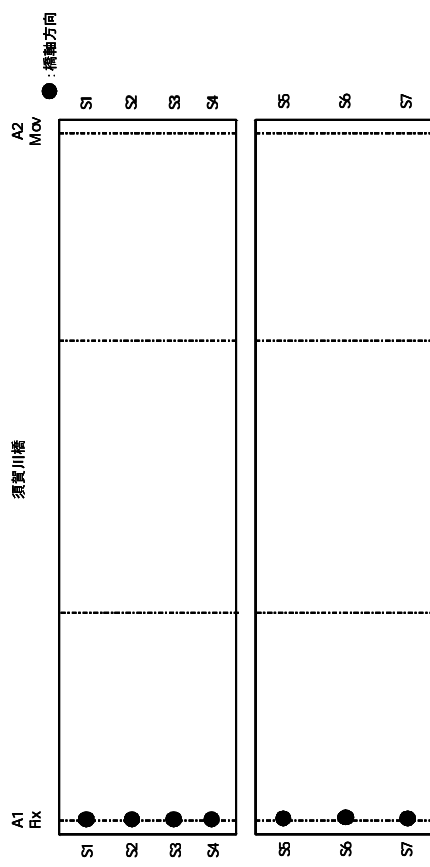
東北自動車道
郡山管内橋梁災害復旧工事

図面の種類	架設用鋼線鉄筋図面(2)
縮尺	図面縮尺
設計会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社
事務所名	郡山 管理事務所

訂正前

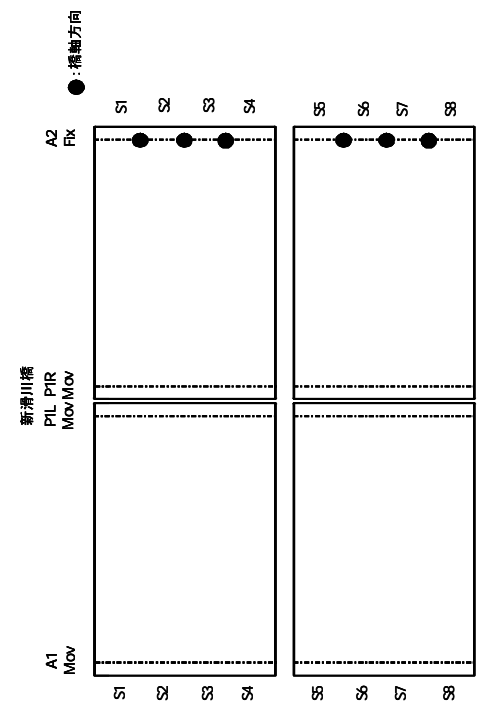
82 / 116

変位制限装置設置図 (3)



材料表

項目	規格	数量	単位	数量	規格
架設用鋼線ロープ (橋脚方向)	コンクリート	AT-3	㎡	651	標準図面(中空円形鋼)
	型枠	D	㎡	3453	標準図面(中空円形鋼)
	鉄筋	A	t	077	標準図面(中空円形鋼)
	アンカー工	φ32 L=4330mm(鉛直)	本	49	標準図面(中空円形鋼)
		φ28 L=4240mm(水平)	本	88	標準図面(中空円形鋼)
継脚材A	クロコレンゴム	㎡	212	標準図面(中空円形鋼)	
材料表 7面(相当)	鋼板	L=22mm(SM400A)	t	1295	標準図面(中空円形鋼)
	アンカー用ボルト	D51(S3545) M48	kg	259	標準図面(中空円形鋼)
	アンカー工	φ51 L=4310mm(鉛直)	本	21	標準図面(中空円形鋼)
		φ51 L=4310mm(鉛直)	本	21	標準図面(中空円形鋼)



材料表

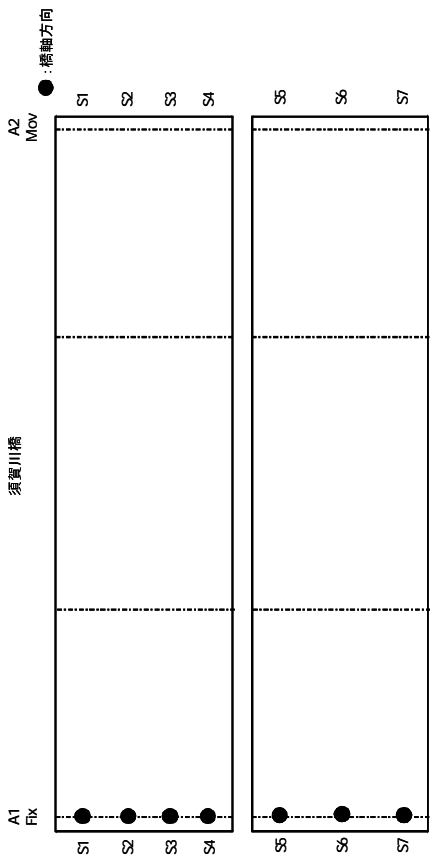
項目	規格	数量	単位	数量	規格
架設用鋼線ロープ (橋脚方向)	コンクリート	AT-3	㎡	508	標準図面(中空円形鋼)
	型枠	D	㎡	3054	標準図面(中空円形鋼)
	鉄筋	A	t	068	標準図面(中空円形鋼)
	アンカー工	φ32 L=4330mm(鉛直)	本	42	標準図面(中空円形鋼)
		φ28 L=4240mm(水平)	本	84	標準図面(中空円形鋼)
継脚材A	クロコレンゴム	㎡	218	標準図面(中空円形鋼)	

東北自動車道 郡山管内橋梁災害復旧工事	
図面の分類	架設用鋼線ロープ(3)
縮尺	図面番号
設計会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社
事務所名	郡山管理事務所

訂正後

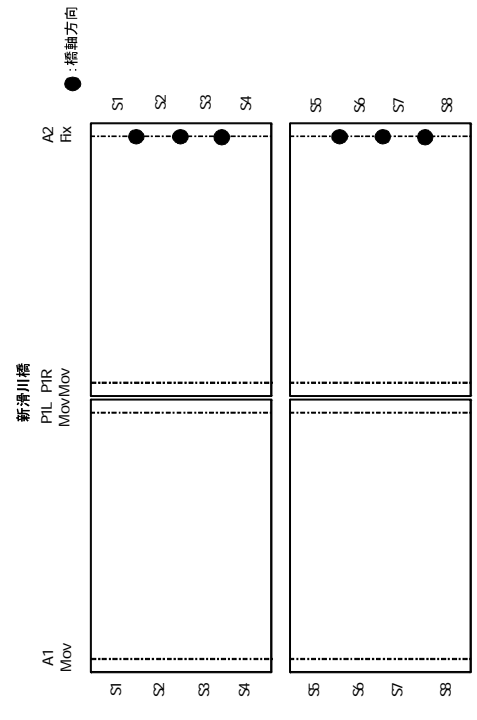
82 / 116

変位制限装置設置図 (3)



材料表

項目	規格	数量	単位	数量	規格
架設用鋼線ロープ (橋脚方向)	コンクリート	AT-3	㎡	651	標準図面(中空円形鋼)
	型枠	D	㎡	3453	標準図面(中空円形鋼)
	鉄筋	A	t	077	標準図面(中空円形鋼)
	アンカー工	φ32 L=4330mm(鉛直)	本	49	標準図面(中空円形鋼)
		φ28 L=4240mm(水平)	本	88	標準図面(中空円形鋼)
継脚材A	クロコレンゴム	㎡	212	標準図面(中空円形鋼)	
材料表 7面(相当)	鋼板	L=22mm(SM400A)	t	1295	標準図面(中空円形鋼)
	アンカー用ボルト	D51(S3545) M48	kg	259	標準図面(中空円形鋼)
	アンカー工	φ51 L=4310mm(鉛直)	本	21	標準図面(中空円形鋼)
		φ51 L=4310mm(鉛直)	本	21	標準図面(中空円形鋼)



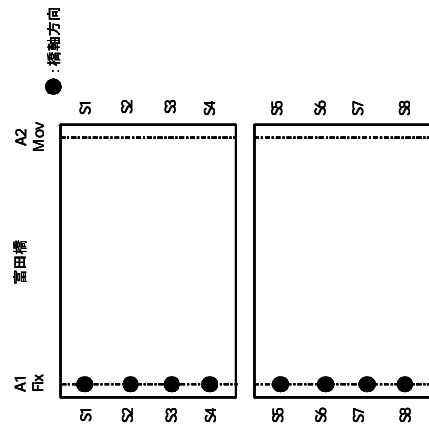
材料表

項目	規格	数量	単位	数量	規格
架設用鋼線ロープ (橋脚方向)	コンクリート	AT-3	㎡	656	標準図面(中空円形鋼)
	型枠	D	㎡	3454	標準図面(中空円形鋼)
	鉄筋	A	t	066	標準図面(中空円形鋼)
	アンカー工	φ32 L=4330mm(鉛直)	本	42	標準図面(中空円形鋼)
		φ28 L=4240mm(水平)	本	84	標準図面(中空円形鋼)
継脚材A	クロコレンゴム	㎡	216	標準図面(中空円形鋼)	

東北自動車道 郡山管内橋梁災害復旧工事	
図面の分類	架設用鋼線ロープ(3)
縮尺	図面番号
設計会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社
事務所名	郡山管理事務所

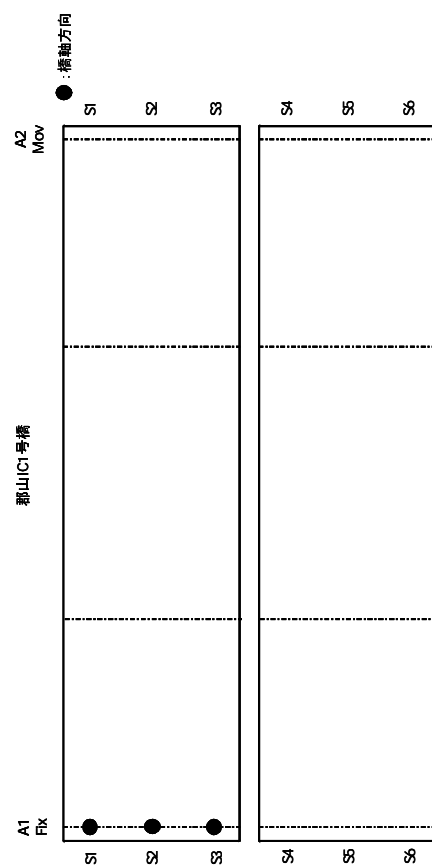
訂正前

変位制限装置位置図 (4)



材料表

項目	規格	単位	数量	備註
家凸部鋼線束B (橋軸方向)	コンクリート	m ³	7.44	標準図2(中空円形鋼線束)
	型枠	m ²	47.2	標準図2(中空円形鋼線束)
	鉄筋	t	0.88	標準図2(中空円形鋼線束)
	アンカー-E	本	56	標準図2(中空円形鋼線束)
	継鋼材	m	112	標準図2(中空円形鋼線束)
材料表_8箇所当り 家凸部鋼線束M (橋軸方向)	コンクリート	m ³	2.98	標準図2(中空円形鋼線束)
	型枠	m ²	15.27	標準図2(中空円形鋼線束)
	鉄筋	t	0.33	標準図2(中空円形鋼線束)
	アンカー-E	本	21	標準図2(中空円形鋼線束)
	継鋼材	m	42	標準図2(中空円形鋼線束)



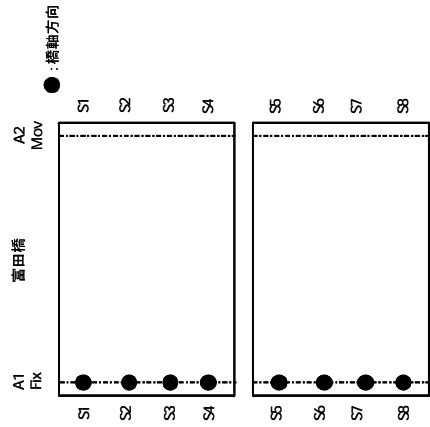
材料表

項目	規格	単位	数量	備註
家凸部鋼線束B (橋軸方向)	コンクリート	m ³	2.79	標準図2(中空円形鋼線束)
	型枠	m ²	15.27	標準図2(中空円形鋼線束)
	鉄筋	t	0.33	標準図2(中空円形鋼線束)
	アンカー-E	本	21	標準図2(中空円形鋼線束)
	継鋼材	m	42	標準図2(中空円形鋼線束)
材料表_8箇所当り 家凸部鋼線束M (橋軸方向)	コンクリート	m ³	0.555	標準図2(中空円形鋼線束)
	型枠	m ²	3.11	標準図2(中空円形鋼線束)
	鉄筋	t	0.11	標準図2(中空円形鋼線束)
	アンカー-E	本	9	標準図2(中空円形鋼線束)
	継鋼材	m	18	標準図2(中空円形鋼線束)

東北自動車道	
郡山管内橋梁災害復旧工事	
図面の種類	家凸部鋼線束位置図(4)
縮尺	図面番号 /
設計会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社
事務所名	郡山管理事務所

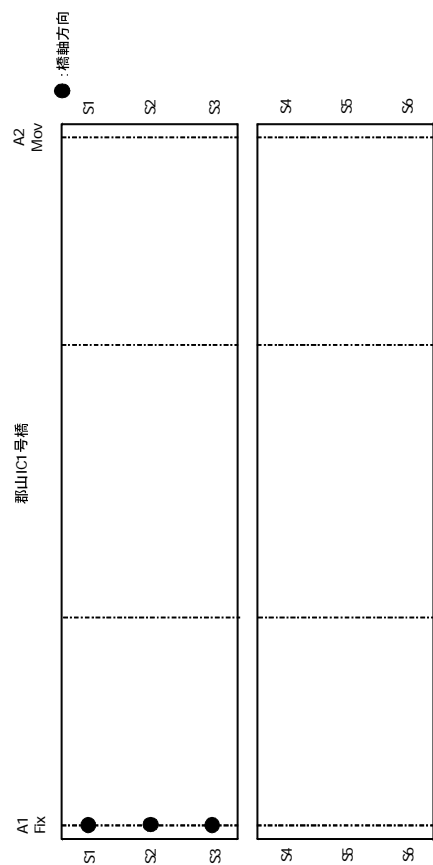
訂正後

変位制限装置位置図 (4)



材料表

項目	規格	単位	数量	備註
家凸部鋼線束B (橋軸方向)	コンクリート	m ³	7.44	標準図2(中空円形鋼線束)
	型枠	m ²	47.2	標準図2(中空円形鋼線束)
	鉄筋	t	0.88	標準図2(中空円形鋼線束)
	アンカー-E	本	56	標準図2(中空円形鋼線束)
	継鋼材	m	112	標準図2(中空円形鋼線束)
材料表_8箇所当り 家凸部鋼線束M (橋軸方向)	コンクリート	m ³	1.48	標準図2(中空円形鋼線束)
	型枠	m ²	2.98	標準図2(中空円形鋼線束)
	鉄筋	t	0.33	標準図2(中空円形鋼線束)
	アンカー-E	本	24	標準図2(中空円形鋼線束)
	継鋼材	m	48	標準図2(中空円形鋼線束)



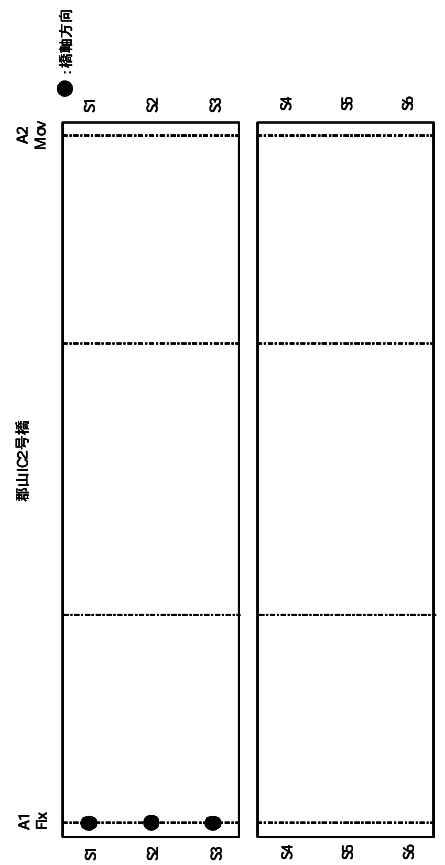
材料表

項目	規格	単位	数量	備註
家凸部鋼線束B (橋軸方向)	コンクリート	m ³	2.79	標準図2(中空円形鋼線束)
	型枠	m ²	15.27	標準図2(中空円形鋼線束)
	鉄筋	t	0.33	標準図2(中空円形鋼線束)
	アンカー-E	本	21	標準図2(中空円形鋼線束)
	継鋼材	m	42	標準図2(中空円形鋼線束)
材料表_8箇所当り 家凸部鋼線束M (橋軸方向)	コンクリート	m ³	0.555	標準図2(中空円形鋼線束)
	型枠	m ²	3.11	標準図2(中空円形鋼線束)
	鉄筋	t	0.11	標準図2(中空円形鋼線束)
	アンカー-E	本	9	標準図2(中空円形鋼線束)
	継鋼材	m	18	標準図2(中空円形鋼線束)

東北自動車道	
郡山管内橋梁災害復旧工事	
図面の種類	家凸部鋼線束位置図(4)
縮尺	図面番号 /
設計会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社
事務所名	郡山管理事務所

変位制限装置設置図 (5)

訂正前

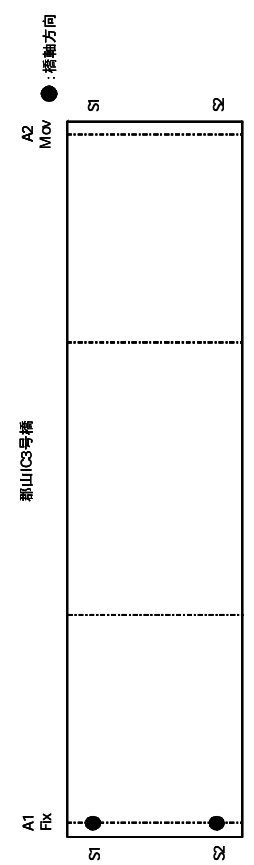


材料表

項目	コンクリート	鋼筋	単位	数量	備註
架設方向 (橋脚方向)	コンクリート	A1-9	m ³	2.79	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋	D	m ³	15.27	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋	A	t	0.33	標準図表(中空鉄筋橋)
	アンカー-I	φ32 L=0.330m(仮置)	本	21	標準図表(中空鉄筋橋)
撤去方向	アンカー-I	φ28 L=0.240m(仮置)	本	42	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋材-A	クロロレンゾム	m ²	1.08	標準図表(中空鉄筋橋)

材料表 3面計出当り

鋼筋	L=22mm(SMA400)	t	0.555	標準図表(中空鉄筋橋)
アンカー-IVトアウト	D51(S245, M48)	kg	111	標準図表(中空鉄筋橋)
アンカー-I	φ61 L=0.10m(仮置)	本	9	標準図表(中空鉄筋橋)



材料表

項目	コンクリート	鋼筋	単位	数量	備註
架設方向 (橋脚方向)	コンクリート	A1-9	m ³	1.86	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋	D	m ³	10.18	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋	A	t	0.22	標準図表(中空鉄筋橋)
	アンカー-I	φ32 L=0.330m(仮置)	本	14	標準図表(中空鉄筋橋)
撤去方向	アンカー-I	φ28 L=0.240m(仮置)	本	28	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋材-A	クロロレンゾム	m ²	0.72	標準図表(中空鉄筋橋)

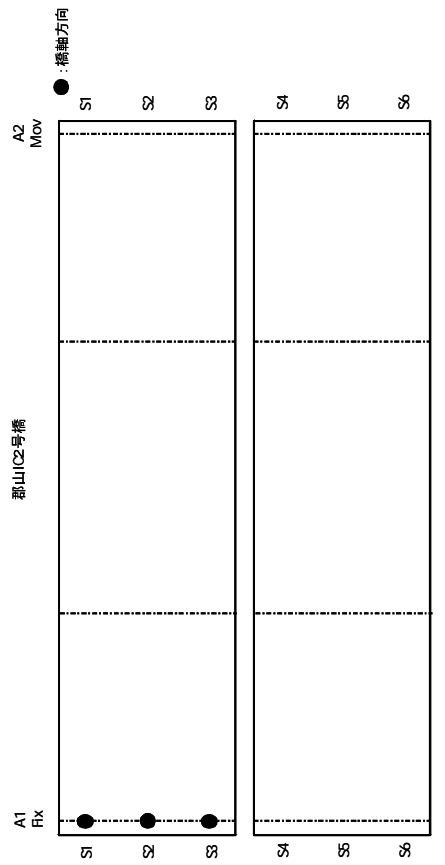
材料表 2面計出当り

鋼筋	L=22mm(SMA400)	t	0.27	標準図表(中空鉄筋橋)
アンカー-IVトアウト	D51(S245, M48)	kg	74	標準図表(中空鉄筋橋)
アンカー-I	φ61 L=0.10m(仮置)	本	6	標準図表(中空鉄筋橋)

東北自動車道	
郡山管内橋梁災害復旧工事	
図面の種類	架設用標準標準図表(5)
縮尺	—
図面番号	—
専務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 郡山管理事務所

訂正後

変位制限装置設置図 (5)

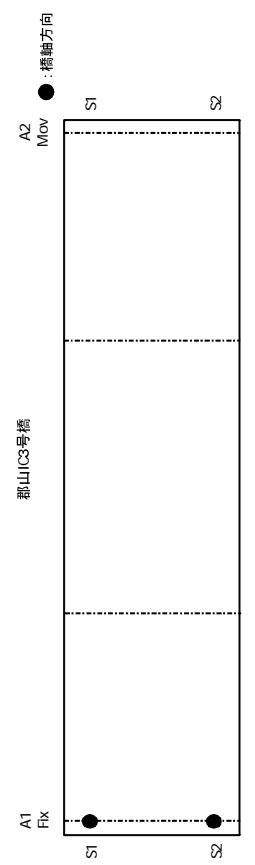


材料表

項目	コンクリート	鋼筋	単位	数量	備註
架設方向 (橋脚方向)	コンクリート	A1-9	m ³	2.79	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋	D	m ³	15.27	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋	A	t	0.33	標準図表(中空鉄筋橋)
	アンカー-I	φ32 L=0.330m(仮置)	本	21	標準図表(中空鉄筋橋)
撤去方向	アンカー-I	φ28 L=0.240m(仮置)	本	42	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋材-A	クロロレンゾム	m ²	1.08	標準図表(中空鉄筋橋)

材料表 3面計出当り

鋼筋	L=22mm(SMA400)	t	0.555	標準図表(中空鉄筋橋)
アンカー-IVトアウト	D51(S245, M48)	kg	111	標準図表(中空鉄筋橋)
アンカー-I	φ61 L=0.10m(仮置)	本	9	標準図表(中空鉄筋橋)



材料表

項目	コンクリート	鋼筋	単位	数量	備註
架設方向 (橋脚方向)	コンクリート	A1-9	m ³	1.86	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋	D	m ³	10.18	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋	A	t	0.22	標準図表(中空鉄筋橋)
	アンカー-I	φ32 L=0.330m(仮置)	本	14	標準図表(中空鉄筋橋)
撤去方向	アンカー-I	φ28 L=0.240m(仮置)	本	28	標準図表(中空鉄筋橋)
	鋼筋材-A	クロロレンゾム	m ²	0.72	標準図表(中空鉄筋橋)

材料表 2面計出当り

鋼筋	L=22mm(SMA400)	t	0.27	標準図表(中空鉄筋橋)
アンカー-IVトアウト	D51(S245, M48)	kg	74	標準図表(中空鉄筋橋)
アンカー-I	φ61 L=0.10m(仮置)	本	6	標準図表(中空鉄筋橋)

東北自動車道	
郡山管内橋梁災害復旧工事	
図面の種類	架設用標準標準図表(5)
縮尺	—
図面番号	—
専務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 郡山管理事務所

変位制限構造 標準図 (02)

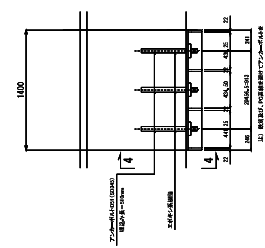
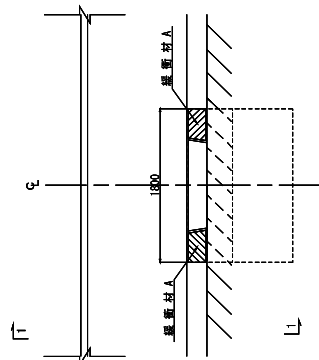
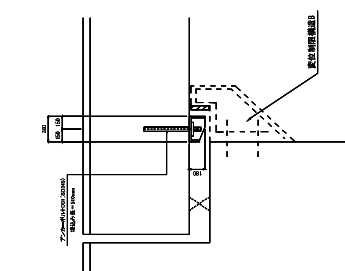
109 / 116

変位制限構造 M
コンクリート中空床版橋・箱桁橋 (橋軸方向)

1 - 1

2 - 2

3 - 3



数量表 (落橋防止構造 1 基当り)
変位制限装置 B (底さ: 1.0m)

項目	項番	単位	数量	仕様
コンクリート	A1=3	m ³	0.93	ρ _k =30N/m ²
型枠	D	m ²	5.09	
鉄筋	A	t	0.110	SD345
アンカー	φ52 L10,30m	本	7	鉛直
	φ8 L10,30m	本	14	水平
鋼板	A	m ²	0.36	橋軸方向

※変位制限構造 標準図02と同数量のコンクリート版が同標準図とする。

変位制限装置 B

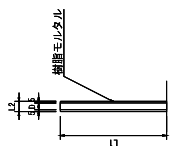
項目	項番	単位	数量	仕様
コンクリート	A1=3	m ³	0.185	
鉄筋	B1 (SD45) 鉛直	k g	37	
アンカー	φ81 L10,30m	本	3	鉛直

注記) 1) 特記の材料等は、全てS400Cとする。
2) アンカーボルトは、50mmは露出寸法とする。



D	L1	L2
51	510	61

解孔部詳細図 (鉛直)



※下部工より、増設打ちコンクリートによる突起を設置し、鋼製ブラケットにより橋軸方向への変位を制限する。
※下部工に設置する場所打ちコンクリート部材は、「変位制限構造 標準図03」を規定している。

東北自動車道	
郡山管内橋梁災害復旧工事	
図面の種類	変位制限構造 標準図(02)
縮尺	—
設計会社名	東日本建設コンサルタンツ株式会社 東北支社
事務所名	郡山管理事務所

訂正後

変位制限構造 標準図 (02)

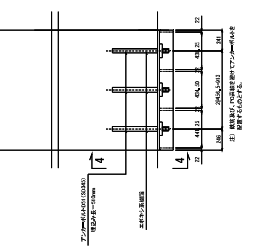
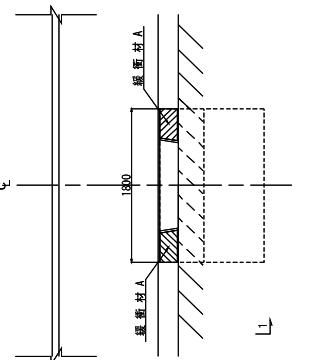
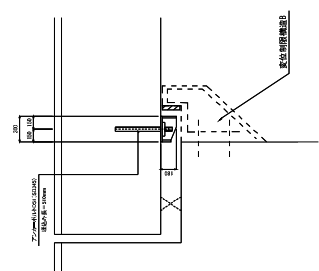
109 / 116

変位制限構造 M
コンクリート中空床版橋・箱桁橋 (橋軸方向)

1 - 1

2 - 2

3 - 3



数量表 (落橋防止構造 1 基当り)
変位制限装置 B (底さ: 1.0m)

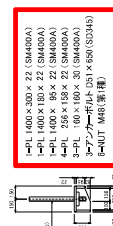
項目	項番	単位	数量	仕様
コンクリート	A1=3	m ³	0.93	ρ _k =30N/m ²
型枠	D	m ²	5.09	
鉄筋	A	t	0.110	SD345
アンカー	φ52 L10,30m	本	7	鉛直
	φ8 L10,30m	本	14	水平
鋼板	A	m ²	0.36	橋軸方向

※変位制限構造 標準図02と同数量のコンクリート版が同標準図とする。

変位制限装置 B

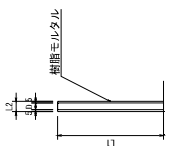
項目	項番	単位	数量	仕様
コンクリート	A1=3	m ³	0.185	
鉄筋	B1 (SD45) 鉛直	k g	37	
アンカー	φ81 L10,30m	本	3	鉛直

注記) 1) 特記の材料等は、全てS400Cとする。
2) アンカーボルトは、50mmは露出寸法とする。



D	L1	L2
51	510	61

解孔部詳細図 (鉛直)



※下部工より、増設打ちコンクリートによる突起を設置し、鋼製ブラケットにより橋軸方向への変位を制限する。
※下部工に設置する場所打ちコンクリート部材は、「変位制限構造 標準図03」を規定している。

東北自動車道	
郡山管内橋梁災害復旧工事	
図面の種類	変位制限構造 標準図(02)
縮尺	—
設計会社名	東日本建設コンサルタンツ株式会社 東北支社
事務所名	郡山管理事務所

訂正前	訂正後																		
<p>断面修復工に用いる材料は、構造物施工管理要領3-5-3鉄筋防せいの性能照査および3-5-5断面修復の性能照査の規定によるものとする。</p> <p>18-12-4 施工 断面修復工の施工は、構造物施工管理要領3-5「断面修復」3-5-6「施工」4)吹付け工法の規定に従い行うものとする。なお、施工箇所において鉄筋表面からの漏水が見られ、水抜き対策が必要と監督員が判断した場合、これに要する費用は別途監督員と工事が協議し定めるものとする。</p> <p>18-12-5 数量の検測 断面修復工の数量の検測は、設計数量(m³)で行うものとする。</p> <p>18-12-6 支払 断面修復工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対して、それぞれ1m³当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う鉄筋の防せい(錆)処理及び断面修復(復旧)等断面修復工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">特一(8)</td> <td style="text-align: center;"><u>単価表の項目</u> 断面修復工 A</td> <td style="text-align: center;"><u>検測の単位</u> m³</td> </tr> </table> <p>18-13 ひびわれ注入工</p> <p>18-13-1 定義 ひびわれ注入工とは、構造物施工管理要領3-4「ひび割れ補修」に基づき、ひび割れ部のコンクリート表面の汚れの除去、注入孔の設置、注入用具の取り付け、ひび割れシール、注入作業及び注入用具やシール材の除去・表面仕上げを行うものをいう。</p> <p>18-13-2 種別 ひびわれ注入工の単価表の項目に示す種別は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひびわれ注入工 A</td> <td>既設構造物に発生したひびわれ(ひびわれ幅0.2mm以上)に対し、ひびわれ注入を行うもの</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>18-13-3 材料 ひびわれ注入工の材料は、構造物施工管理要領3-4-3「品質規格」の規定を適用するものとする。</p> <p>18-13-4 施工 ひびわれ注入工の施工は、構造物施工管理要領3-4-4「施工」の規定に従い、移動または固定足場にて行うものとする。</p> <p>18-13-5 数量の検測 ひびわれ注入工の数量の検測は、設計数量(m)で行うものとする。</p> <p>18-13-6 支払 ひびわれ注入工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対して、1m当りの契約単価で行うものとする。 この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行うひび割れ部のコンクリート表面の汚れの除去、注入孔の設置、注入用具の取り付け、ひび割れシール、注入作業及び注入用具やシール材の除去・表面仕上げ、足場工、シート張防護工等ひび割れ注入工の施工に要する材料・労力・機</p>	特一(8)	<u>単価表の項目</u> 断面修復工 A	<u>検測の単位</u> m ³	単価表の項目	区分内容	摘要	ひびわれ注入工 A	既設構造物に発生したひびわれ(ひびわれ幅0.2mm以上)に対し、ひびわれ注入を行うもの		<p>断面修復工に用いる材料は、構造物施工管理要領3-5-3鉄筋防せいの性能照査および3-5-5断面修復の性能照査の規定によるものとする。</p> <p>18-12-4 施工 断面修復工の施工は、構造物施工管理要領3-5「断面修復」3-5-6「施工」の規定に従い行うものとする。なお、施工箇所において鉄筋表面からの漏水が見られ、水抜き対策が必要と監督員が判断した場合、これに要する費用は別途監督員と工事が協議し定めるものとする。</p> <p>18-12-5 数量の検測 断面修復工の数量の検測は、設計数量(m³)で行うものとする。</p> <p>18-12-6 支払 断面修復工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対して、それぞれ1m³当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う鉄筋の防せい(錆)処理及び断面修復(復旧)等断面修復工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">特一(8)</td> <td style="text-align: center;"><u>単価表の項目</u> 断面修復工 A</td> <td style="text-align: center;"><u>検測の単位</u> m³</td> </tr> </table> <p>18-13 ひびわれ注入工</p> <p>18-13-1 定義 ひびわれ注入工とは、構造物施工管理要領3-4「ひび割れ補修」に基づき、ひび割れ部のコンクリート表面の汚れの除去、注入孔の設置、注入用具の取り付け、ひび割れシール、注入作業及び注入用具やシール材の除去・表面仕上げを行うものをいう。</p> <p>18-13-2 種別 ひびわれ注入工の単価表の項目に示す種別は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>区分内容</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひびわれ注入工 A</td> <td>既設構造物に発生したひびわれ(ひびわれ幅0.2mm以上)に対し、ひびわれ注入を行うもの</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>18-13-3 材料 ひびわれ注入工の材料は、構造物施工管理要領3-4-3「品質規格」の規定を適用するものとする。</p> <p>18-13-4 施工 ひびわれ注入工の施工は、構造物施工管理要領3-4-4「施工」の規定に従い、移動または固定足場にて行うものとする。</p> <p>18-13-5 数量の検測 ひびわれ注入工の数量の検測は、設計数量(m)で行うものとする。</p> <p>18-13-6 支払 ひびわれ注入工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対して、1m当りの契約単価で行うものとする。 この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行うひび割れ部のコンクリート表面の汚れの除去、注入孔の設置、注入用具の取り付け、ひび割れシール、注入作業及び注入用具やシール材の除去・表面仕上げ、足場工、シート張防護工等ひび割れ注入工の施工に要する材料・労力・機</p>	特一(8)	<u>単価表の項目</u> 断面修復工 A	<u>検測の単位</u> m ³	単価表の項目	区分内容	摘要	ひびわれ注入工 A	既設構造物に発生したひびわれ(ひびわれ幅0.2mm以上)に対し、ひびわれ注入を行うもの	
特一(8)	<u>単価表の項目</u> 断面修復工 A	<u>検測の単位</u> m ³																	
単価表の項目	区分内容	摘要																	
ひびわれ注入工 A	既設構造物に発生したひびわれ(ひびわれ幅0.2mm以上)に対し、ひびわれ注入を行うもの																		
特一(8)	<u>単価表の項目</u> 断面修復工 A	<u>検測の単位</u> m ³																	
単価表の項目	区分内容	摘要																	
ひびわれ注入工 A	既設構造物に発生したひびわれ(ひびわれ幅0.2mm以上)に対し、ひびわれ注入を行うもの																		
27	27																		